

「はばたけ未来へ！ 京プラン」実施計画（骨子）に対する パブリック・コメントの実施結果について

京都市では、平成22年12月に市会の議決を得て策定した「はばたけ未来へ！ 京プラン（京都市基本計画）」に掲げる重点戦略及び行政経営の大綱を推進するための具体的な事業等を示した「実施計画」の策定に取り組んでいます。

平成23年10月に公表した「実施計画（骨子）」に対するパブリック・コメントが終了しましたので、結果について報告いたします。

なお、これらの御意見を踏まえ、年度内に計画を策定する予定です。

1 実施期間

平成23年10月24日（月）～11月23日（水） 31日間

2 提出方法

①郵送 ②FAX ③京都市情報館の入力フォーム ④事務局への直接提出

3 募集結果

168名、323件の意見が提出

<性別・年齢別（人数）>

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
男性	45	13	5	9	9	3	10	14	108
女性	13	14	4	2	3	0	0	6	42
不明	0	0	0	1	1	0	0	16	18
合計	58	27	9	12	13	3	10	36	168

<市内在住・在勤等の別（人数）>

市内在住	市内在勤	市外在住・在勤	不明
89	13	45	21

<提出方法別（人数）>

①郵送	②FAX	③入力フォーム	④直接提出
16	15	42	95

<項目別（件数）>

● 計画全体	6件
● 実施計画の基本的な考え方	4件
● 持続可能かつ機動的な財政運営の確立	15件
● 政策編	223件
政策編 全体	4件
低炭素・循環型まちづくり戦略	32件
歩いて楽しいまち・京都戦略	55件
歴史・文化都市創生戦略	16件
個性と活力あふれるまちづくり戦略	16件
旅の本質を追求する観光戦略	16件
新産業創造戦略	8件
未来の担い手育成戦略	8件
子どもを共に育む戦略	13件
真のワーク・ライフ・バランス戦略	24件
地域コミュニティ活性化戦略	3件
いのちとくらしを守る戦略	28件
● 改革編	64件
参加と協働による市政とまちづくりの推進	8件
情報の公開・共有と行政評価の推進	6件
持続可能な行財政の確立	48件
一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と人材の育成	2件
● その他	11件

4 意見の概要

● 計画全体

6件

1	1年ごとの具体的な取組が見えるよう、年間方針にしっかり連動させて、さらに公表すべき。
2	かなり広い範囲で書かれているが、長い目でがんばってほしい。市民に役立つと思う。
3	このプランどおりに進めてほしい。
4	生活者の視点に立った「安全・安心」を基本に京都を美しい都市にしてほしい。
5	実施計画期間を1年前倒ししてスピードアップを。
6	実施計画の進捗状況をチェックする機関が必要ではないか。

● 実施計画の基本的な考え方

4件

1	未来像の実現に向けての計画期間が4年というの少ないのではないか。
2	計画期間の設定の仕方が良く分からない。
3	6つの京都の未来像全てを実現するには、少し期間が短いのではないか。
4	京都の未来像を達成する具体的な年度を書くほうが、市民の意識が高まるのではないか。

● 持続可能かつ機動的な財政運営の確立

15件

1	数年前に唯一の政令指定都市で赤字だったのを黒字にたてなおしたところはよい。
2	投資的経費について、一般会計の実質市債残高（臨時財政対策債除く）を平成22年度末9817億円から500億円（5%）削減とあるが500億円の設定根拠がわからない。
3	臨時財政対策債を含め他の全国市町村や政令指定都市と比較して市債の削減額の設定は本当に適正か。
4	社会資本整備費が大幅に縮小している点はよい。
5	児童支援、民生費などさまざまな点で他の政令指定都市より、安定している点はよい。
6	財源確保は、非常に大事。もう少し、削れる部分はあると思うので、努力してほしい。
7	保育や福祉がしっかりしているが、大手企業に依存している点は悪い点である。
8	お金のかからない取組をみんなで進められるように、ソフト面での取組を分けて表示するなど、未来に必要な予算を明記してほしい。
9	財源手当てについて、平成27年度以降は本当に増加が見込めるのか。その根拠は何か。

10	特別の財源対策として、行政改革推進債の活用と公債償還基金の取り崩しで年間 100 億円×5 年＝500 億円とあり、市債残高の削減額と結局プラスマイナスゼロではないのか。またそのような表現について市民へのわかりやすい説明責任を果たしているといえるのか。
11	なぜ特別の財源対策をゼロにした予算組を行わないのか。無理なのであれば将来世代のために毎年度の市民税の税率を必要に応じて見直さないのか。
12	平成 18 年～21 年度の間で特別財源対策が、平成 21 年～22 年度にかけて一般財源収入が、それぞれ大幅に減少した理由は何か。
13	中期財政収支見通しの歳出・歳入において、不明な「その他」の欄があるが、明確に出来ないか。
14	市有設備などを表す貸借対照表ができないか。
15	金額が大きすぎて現実感がもてなかった。

● 政策編

223件

政策編 全体

4件

1	計画目標数値（共汗指標）をクリアするために、市民ひとりひとりが協力すべき。
2	現在の財源から考えて、重要性を考えると、6つの未来像を絞ってはどうか。
3	未来像に掲げる「環境共生と低酸素のまち・京都」と「環境と社会に貢献する産業を育てるまち・京都」はまとめても良いのではないか。
4	定住するうえでの魅力を十分に伝えきれてないのではないか。

低炭素・循環型まちづくり戦略

32件

1	環境を考えCO2削減のために政策を推進して欲しい。
2	京都のCO2排出量はあまり減っていないのではないか。
3	温室効果ガスを削減するための取組は、地球にも良いし、京都のイメージもよくなるので、とてもいいことだ。
4	環境問題の解決のための対策をもっと行うべき。
5	「低炭素・循環型まちづくり戦略」に掲げられている共汗指標は、京都市民の将来に向けたエネルギー安全保障と世界に向けた京都ならではの発信内容として十分な内容か。
6	環境をきれいにしてほしい。
7	基本的な考え方の最終目標が温室効果ガスの大幅な排出削減となっているが、妥当か。
8	街中や路地裏などにおける緑の普及をリーディング・プロジェクトに入れてほしい。

9	市民にはエコカー，市外からの来街者にはパークアンドライドを推進すべき。
10	E V， P H Vへの積極的転換のために，市独自の積極策や市バス・タクシー等交通機関のE V化を推進すべき。
11	環境問題に取り組むのが高学年からではなく，低学年から取り組むことで，環境共生に対する意識が高まるのではないか。
12	公共の施設の設備を整えるべき。
13	ごみあまり落ちてないのは個人的にはすばらしいと思う。
14	ごみの分別，ごみを出す日を徹底すべき。
15	再生可能エネルギーの拡大とごみの減量について，ごみの減量や資源化促進に向けた多様な回収のしくみづくりが見られない。燃えるごみ・燃えないごみの大きく分けて2種類しか分類していないのではないか。
16	観光シーズンになると京都にごみが増えているのではないか。
17	ごみの減量のために色々な回収制度があるが，古着の回収ボックスも作ってほしい。
18	ごみ箱が少ない。
19	環境問題に気を遣う割にはごみ箱などが少ないのではないか。
20	ごみを出さない出させないという意識，マナーの向上につながる「まちの美化住民協定」制度のさらなる周知を。
21	再生利用を前提にして焼却や埋め立てるごみ量を極力削減するシステムをめざし，集積所周辺の環境・収集の労役・費用など収集の現場処理も含めて長期的に抜本的改革が必要ではないか。
22	京都には環境問題を解決する技術を持つ企業が数多く立地する。京都の地域性を活かして，自然エネルギーをさらに活用して欲しい。
23	電気の地産地消を進めるためにも，市民協働発電制度として，地域の山や鎮守の森から出る間伐材等を利用した大中小規模火力発電所を考えてはどうか。
24	エネルギー，温暖化，防災などの新しい技術をさらに前向きに論じる必要がある。
25	地産地消を推進してはどうか。
26	京北地域で松茸の栽培を。
27	洛西ニュータウンの豊かなみどりは大切な資源であるため，道路や公園の樹木を剪定した結果，景観が損なわれることがないように，適切な維持管理の継続を盛り込んだ「みどりのガイドライン」を策定してほしい。
28	洛西ニュータウンでの街路樹の二段階剪定は，目的を達成していないと感じる。市内全域を画一的に同じ手法で二段階剪定を行うのではなく，地域の実情に合わせた方法を導入を検討してほしい。

29	洛西の緑や自然を活かし、子育てに適したまちづくりを進めてほしい。
30	京都市は公園が多いように思う。維持費・設備費などを考慮するともう少し減らしてもよいのではないか。
31	公園など子どもたちが外で遊べる環境が少ないのではないか。
32	公園などのグラウンドを芝生にしてほしい。

歩いて楽しいまち・京都戦略

55件

1	「歩いて楽しいまち・京都戦略」の共汗指標は、高齢者の視点にたった「歩いてもくらせる街」の観点から、病院や商店、公共設備と交通機関のあるべき距離やバス本数の目標値を指標として設定すべき。
2	東大路・西大路・北大路・九条の市内外周道路等にLRT路面電車を導入して自動車の流入を規制すべき。
3	洛西とJR, 阪急を結ぶLRT化を進めてほしい。
4	市バスはとても便利だが、ふだん利用しない路線は利用しづらい。そこで、「歩くまち・京都」公共交通センターが、目当てのバス停の場所や、目的地に行くまでのお勧めの路線などがわかるサイトを作り、携帯やスマートフォンでも閲覧できるようにしてほしい。
5	バスがダイヤ通りに運行するよう改善してほしい。
6	バスが時刻表通りに運行するよう改善して欲しい。
7	バス停が分かりにくいので改善すべき。
8	外国人の方にとってバス停が分かりにくいのではないか。
9	市バスなどをもう少し遅くまで運行するとともに、市外へも京都駅からバスを出して欲しい。
10	バスが混んでいて乗れないことがあるので、バスの本数を増やして欲しい。
11	バスの本数が1時間に1本であったり、本数が少ないので、バスの本数を増やしてほしい。
12	市バスが混んでいて乗れない。
13	市バスの夜間の本数を増やしてほしい。
14	バスについて、優先座席を指定せず全体をバリアフリーにして譲り合うようにしてはどうか。
15	京都駅周辺の地域は、東寺、京都水族館、ホテル、ショッピングセンター等の店舗や施設がかなり離れた場所に点在しているため、高齢者が歩いて楽しむには距離がありすぎる。この地域には、低床式の電気バスによる南北ターミナルと各施設を結ぶ循環バスを導入すべき。
16	バスが分かりにくい。
17	バス停に電車の駅に設置されているような待合室を作してほしい。

18	バスでＩＣカードが使えるようにして欲しい。
19	一日乗車券をＩＣカードに取り込めるサービスも含めて、早期にＩＣカードをバスに導入していただきたい。
20	京都市営地下鉄の初乗り料金が低い。
21	京都の市営の地下鉄の料金がかなり高い。
22	京都は全体的に電車賃が高いのではないかな。
23	公共交通を自転車を持ち込みやすいよう整備してほしい。
24	西京区に地下鉄を延伸してほしい。
25	京都にある文化財は、駅から遠いなどアクセスがしにくいので、改善してほしい。
26	体育施設への公共交通のアクセスを整備し、飲食店や入浴施設、病院、図書館などとネットワーク化を図ってほしい。
27	公共施設への公共交通機関を整備してほしい。
28	観光地へのアクセスの改善と混雑の緩和のために、地下鉄の太秦天神川駅に、京福電車との相互乗り入れの施設を新たに作ってほしい。
29	観光地へのアクセスの改善と混雑の緩和のために、京都市電の路線を踏襲する地下鉄環状線の建設を行ってほしい。実施に当たっては、需要の高いところから部分開業を目指してほしい。
30	京阪電車の特急が深草駅に止まるなど、公共交通の便を良くしてほしい。
31	大学の最寄り駅に停車する電車の本数を増やしてほしい。
32	「歩くまち」には自転車も似合う。
33	自転車観光を促進するため、自転車の走行環境を整備すべき。
34	自転車をよく利用するが、京都市の道は段差がひどく乗りにくいいため、改修してほしい。
35	駅などに駐輪場が少ないので、設置してほしい。
36	駐輪場の料金が低いので100円台にしてほしい。
37	駐輪場が地下鉄駅はもちろん、バス停付近にもこまめにあると、少し駅・バス停に遠い方でも、車ではなく公共交通機関を使うようになるのではないかなと思う。
38	洛西ニュータウンの4車線道路を2車線にして、自転車レーンをつくってほしい。
39	車から歩行者への転換だけではなく、自転車専用レーンや駐輪場を増やすなど、自転車のことも考慮してほしい。
40	駅中のエレベーターが少ないなど、バリアフリーが整っていないのではないかな。
41	四条で歩いている人のスピードが遅すぎてイライラするのでどうにかしてほしい。
42	歩行空間創出事業と自転車観光促進は、両方の実現ではなく、片方にすべき。

43	四条通の歩行者空間を拡張すべき。
44	四条通も歩道を拡幅するだけでなく、バス以外の車両を抑制すべき。
45	歩道が狭く混み合っているので道幅を広げてほしい。
46	歩道が狭い。
47	歩いて楽しいまちづくりと観光客増加のためにも、早急に嵯峨野の竹林の道のような観光地や旧市街地への「車の乗り入れ禁止」を実施すべき。
48	歩く魅力を最大限に味わえる歩行者優先のまちづくりのために、駅周辺に無料や格安駐車場を確保してほしい。
49	「らくなん進都」に駐車場をつくりパークアンドライドを充実してほしい。
50	観光駐車場を値上げして、パークアンドライド駐車場は格安にしたほうがよい。
51	京都第二外環状道路が完成するので、パークアイランドを早く進めるべき。
52	二酸化炭素・硫黄環境の改善のためにも、自動車の市内中心部への進入規制や「京の七口」に公共駐車場を配備し、市内へはEV化した公共交通機関を利用したパークアンドライドのシステムをつかってほしい。
53	市内中心部に於ける公共交通の円滑な運用のため、四条通の祇園～大宮間、河原町の五条～御池間、東山通の五条～三条間、京都駅周辺の緊急時を除く自動車の昼間時の駐車禁止や商店街への荷卸しなどは規制時間外に行うように規制してほしい。
54	歩いて楽しいまち・京都戦略について、自動車やタクシーの市街地流入抑制のための具体的な施策をもう少し強く打ち出してほしい。
55	高速道路より、混雑する道路の対策をすべき。

歴史・文化都市創生戦略

16件

1	京都らしさを残して欲しい。
2	京プランの6つの京都の未来像に「日本の心が感じられる国際都市」とあるが、国際化する前にまずは京都市民が日本の心を実感できるよう伝えていくべきではないか。
3	三条や、四条のあたりが「ごちゃごちゃ」しているので、「京都らしさ」を守ってほしい。
4	京都会館の建てかえは不要である。
5	京都タワーの外観を和風に変えられないか。

6	昔からの古い街並みを部分的に残すのではなくて、ヨーロッパのように街全体の景観を考えたもって身近に歴史を感じられるようなまちづくりをして欲しい。
7	京都は抹茶をアピールすればよいのではないか。
8	動物園を大原野に移設してほしい。
9	若い世代に文化芸術振興の担い手となってもらうためにも、芸術祭のようなイベントや企画に対しての支援があると頑張っていこうと思えるのではないか。
10	「伝統芸能の国内外への発信支援」は、「伝統芸能」に限定する必要はなく、京都市が主体性をもって行なうことも含めて「発信支援」ではなく「発信」でよいのではないか。
11	障害者のエイブルアートもアートコンテンツに含めてほしい。
12	もっと文化芸術の根付く地盤づくりをしてほしい。
13	社寺の修理にかかる費用を京都市が支出しているのであれば、社寺からも金額を徴収して必要なものだけを修理すべきではないか。
14	京都の町家などを考えるとき、コンビニやスーパーを少なくして、特長ある店舗を大切にすべき。
15	景観を考えて電柱をすべて地下に埋めて欲しい。
16	歩道に電柱等があり、とてもひとに優しいまちとは言えない。

個性と活力あふれるまちづくり戦略

16件

1	梅小路鉄道博物館より七条通を歩道橋で渡り、そのまま中央卸売市場の見学道路（新設）に結びつけ、模擬取引の実演などを上から見ることができるようにして、この地区を新たな観光拠点として整備してはどうか。
2	財政が悪化しているのにも係わらず、梅小路公園に大企業の意を受けて、採算を度外視した水族館を作ることが、市民のためを思っていることとは考えられない。
3	梅小路公園の整備については次の点を踏まえるべき。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 敢えて京都に立地すべきと思われない商業ベース主体の水族館の建設は中止すべき。 ・ 既存の静的展示が主体の鉄道博物館から、広い敷地を利用した動的博物館への転換を図る。 ・ 現役の東海道線や山陰線・新幹線に隣接する地の利を活かし、線路を眺める大展望デッキを設ける等の工夫をする。 ・ わが国最初の京都市電を復元（保存中のものを整備）、JR線に沿って道に敷設して、京都駅と博物館の間をピストン運転、来館者の便を図ると共に、動態保存の一部に加える。

4	梅小路公園の駐車料金の値下げをしてほしい。せっかく水族館もできるし、広くて気持ちのいい公園なので、もっと利用しやすくしてほしい。
5	岡崎地域活性化ビジョンは、賛成する人たちだけで推進しているのではないか。
6	岡崎地域MICE拠点化と岡崎地域活性化ビジョンに反対する。新しい賑わいの創出として、他都市と変わらないような地域にしてしまうべきではない。協議会は地域住民の意見を汲み取っておらず、業界の意を受けた役所の論理が先行している。
7	重要な避難所であり数少ないスポーツ施設である岡崎公園にVIP向けのホテルを建てるべきではない。
8	岡崎地域に国際施設を設置してはどうか。
9	住民だけでなく幅広く意見を集約して議論し、崇仁のまちづくりの中心に京都市立芸術大学を誘致し、市民自らの力による活気溢れるまちをめざすべき。
10	崇仁地域の核となる施設の検討の一つに京都市立芸術大学を加えていただきたい。
11	大学の前にパチンコ店が設置できないようにしてほしい。
12	鴨川、みそそぎ川、高瀬川、疏水、巨椋池内水路等に堀川のような親水ゾーンを整備し、安全な子供の遊び場や憩いの場所を確保してほしい。
13	身近なところでの水辺の環境整備がこれからは必要である。本実施計画は、そのような視点の記載がないのではないか。
14	山ノ内浄水場跡地を大学のシェアオフィスにしてはどうか。
15	「京都駅南口駅前広場の整備」と「らくなん進都」における新しいバスシステムの導入は、一体的なプロジェクトにする必要がある。
16	「らくなん進都」へ企業が進出するためには、乗り換えなしで「らくなん進都」の各企業に直行できる体制を整える必要があるため、京都駅南口とらくなん進都間のノンストップ急行バスと、途中、何箇所かに停車する準急バスを導入すべき。

旅の本質を追求する観光戦略

16件

1	今よりもっと京都が活気あふれると、もっとたくさんの観光客が来るのではないか。
2	「歴史・文化都市創生戦略」や「旅の本質を追求する観光戦略」を案としてしっかり固め、実行すれば、国内・国外からも京都市の観光都市としての位置付けが確立すると思う。
3	京都ならではの歴史的な建物等のPRをあまりやらなくても、観光客は来るのではないか。
4	京都駅などで、京都の歴史や良さをアピールできるものを作って欲しい。
5	観光地で工事中の所を見るとがっかりする。
6	現在は観光地になっていない社寺のよいところを発信して、観光客が訪ねる場所を分散させてはどうか。
7	世界遺産等の所在地が分かる看板を立ててはどうか。
8	海外からの観光客が多いので、京都の文化をもっと楽しめるようにしてはどうか。
9	商店、飲食店、中小零細企業等が外国人観光客に対応できるようにすべき。
10	外国人観光客対策として、案内板の多言語化に加え、沢山の言語を話すことのできるスタッフを置いて対応してはどうか。
11	外国人観光客をターゲットにした旅行プランを強化すればどうか。
12	京都の魅力を世界に伝えていき、観光客をもっと増やして地域を活性化すべき。
13	町中ハイキングコースを設定し、案内書、地図の発行や道路整備を行ってはどうか。
14	京都一周トレイルの「東山」、「北山」、「西山」の3コースに加えて、嵯峨野や洛北を散策するコースを設定してはどうか。
15	集客施設、販売施設、格安駐車場を含め、盆地を生かした夜景スポットの整備を。
16	レンタサイクルの推進や、自転車を活用した京都を知らない人も分かりやすい観光計画を立てて自転車観光を促進してはどうか。

新産業創造戦略

8件

1	「商業」の売上も共汗指標として設定すべき。
2	京都市のイメージアップを図り、企業を多く呼び込めるような環境を作っていくべき。
3	市内大学との連携など、ものづくりの観点から新しいイノベーションを起こすための条件を整備すべき。
4	大学と産民官との連携により、障害者や高齢者をターゲットにした商品開発やサービスやソフト分野にチャレンジしてもらいたい。

5	人材流出を防ぐために、外国からの人材の呼び込みも含めて、対策を検討すべき。
6	大学生は卒業後の就職さえも保障できないでいる。京都経済が落ち込んでいることに責任を感じないのか。
7	高齢者と若者が協力して農業に取り組んではどうか。
8	障害者が納税者になれるベンチャービジネスを立ち上げる企業者団体の後押しもしていただきたい。

未来の担い手育成戦略

8件

1	「未来の担い手育成戦略」に「留学した京都市民の人数」又は「海外への渡航経験がある京都市民の数」について目標値を設定すべきではないか。
2	すごくいいと思う。もっと学生が活発的に活動できる場を増やして、学生のありあまるパワーを生かして、京都の町を元気にしていきたい。
3	学生が職人とのかかわりを持てるように、大学と連携して伝統工芸などを学ぶ機会を与えてはどうか。そうすれば、伝統工芸を受け継ぎながら学生の新たな発想を活かして社会に貢献する企業立ち上げにつながり、学生が京都市に根付くと思う。
4	京都市立芸術大学を都心に早く移転させるべき。
5	京都市立芸術大学の移転構想は、実現できるような余裕があるとは思えない。
6	京都市立芸術大学について、中心部への移転、芸術センターや音楽高校との一体化を検討してはどうか。
7	他大学の学生とコミュニケーションできる環境をつくってほしい。
8	京都には多くの大学があるので、地域と大学が提供して新しいイベントなどを開催し、活性化すべき。

子どもを共に育む戦略

13件

1	待機児童は0人をめざすべき。
2	待機児童問題については、これまで保育所の少なかった地域に重点的に保育所を整備することが必要ではないか。
3	つどいの広場を各小学校に広めてはどうか。
4	学校としては必要がなくなった敷地や建物をお荷物にしないように有効活用の方法をよく考えてほしい。
5	小学校跡地などの利用には民間のアイデアを活用してはどうか。
6	小中一貫教育を推進するより、すべての子どもに学力、市民道徳等をつけるのが行政の役割ではないか。
7	一部の学校の建築に膨大な予算をつぎ込み、他の学校に予算が回らないのではないか。

8	京都市では多くの教員が採用されているが、採用後に教員の質を確保するための工夫はされているのか。
9	児童虐待対策を進めて欲しい。
10	児童虐待防止の観点に対策予防のみに偏っている。発生以後の取組についても充実してもらいたい。
11	障害者でも知的な、又は自閉症等のようなケースは、就労に苦労しているが、青少年活動センターのない区においても、空き店舗等を活用し、居場所づくりを進めてほしい。
12	3人乗り自転車を貸してくれる制度について、条件が厳しすぎるので、もう少し使いやすい制度にしてほしい。
13	「子どもを共に育む戦略」の中に、子どもたちを健やかに育むための体育やスポーツについて、何も書かれていない。

真のワーク・ライフ・バランス戦略

24件

1	真のワーク・ライフ・バランスという言葉がよくわからない。
2	共汗指標「真のワーク・ライフ・バランスを推進している企業の認定数」の目標値が、京都の全事業所数の1%にも満たない数値だが、少なすぎないか。
3	ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っている人の割合を増やすことを目標としてはいかがか。
4	真のワーク・ライフ・バランス戦略の指標には、「ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っている、意識している」といった人の割合を入れたほうがいいのではないか。
5	真のワーク・ライフ・バランス戦略の共汗指標として、スポーツボランティアに参加した割合が入っているが、例えば、男性の育児休暇取得率などのほうがわかりやすいのではないか。
6	スポーツボランティアが指標に入っているが、ボランティアに参加することが仕事とプライベートの調和には結びつかない。ボランティアは強制的にするものでもないので、書く必要はない。
7	仕事重視、家庭重視などの考え方は人それぞれなので、それぞれの人生設計が実現できるような社会にしていくことがワーク・ライフ・バランスだと思う。そのため、ボランティアを増やすという目標には違和感を覚える。
8	中小企業のオーナーなどが多いとされる消防団員はワーク・ライフ・バランスを達成されていると考えられる。全庁横断的な視点で「きょうと男女共同参画推進宣言」事業者登録制度などの登録制度を見直すべきではないか。
9	スポーツイベント・大会等にボランティアとして参加した市民の割合を7%にする目標になっているが、京都市とは関係ない自発的な活動をされている方々を数値から除外しているのはなぜか。

10	若者労働者の数を増やすために、任せられるPRは民間企業に任せてはどうか。
11	人間らしくいきいきすることも大切だが、仕事が無い人などの働き口、豊かな生活も考えるべきではないか。
12	スポーツ関係の事業がワーク・ライフ・バランスに直接関係あるとは思えない。
13	真のワーク・ライフ・バランス戦略にスポーツの項目が多いが、スポーツをしない人には、真のワーク・ライフ・バランスが達成できないと言いたいのか。
14	真のワーク・ライフ・バランス戦略には、スポーツ以外に芸術や文化鑑賞も含まれるのではないか。
15	身近なスポーツ環境の整備が施設整備であれば、ワーク・ライフ・バランスとは関係がないと思う。
16	「身近にスポーツに親しめる環境の整備」はワーク・ライフ・バランスと結びつかないため、「いのちとくらしを守る戦略」に入れるべきではないか。
17	京都マラソンは京都のおもてなしの心を世界に発信できるイベントなので観光戦略の中に入れるべき。
18	京都マラソンは年に1回の行事であり、観光要素が強いと思う。
19	京都スポーツの殿堂事業、スポーツイベントの誘致促進などは子どもに夢を与える事業なので、未来の担い手育成戦略のほうがよいのではないか。
20	京都スポーツの殿堂事業は子どもに夢を与える事業なので、未来の担い手育成戦略のほうがよいのではないか。
21	健康維持、向上や教育の観点から体育館、グラウンド、ジム等の体育施設の増設を。
22	京都市でターゲットバードゴルフの全国大会を開催してほしい。観光都市京都でターゲットバードゴルフなどスポーツの大会、特にシニアの大会を開催してほしい。
23	京都市内に野球場が少ないことへの対策を。
24	真のワーク・ライフ・バランス戦略の環境整備としては、地域の自治活動やボランティアの環境整備が必要ではないか。

地域コミュニティ活性化戦略

3件

1	学校施設を活用した地域とのイベント開催に対して助成を行ってほしい。
2	地域コミュニティ活性化のために、小学校区単位で住民の運営協議会が管理する、誰もが気軽に使える集会所の整備が必要だ。
3	ボランティアなど地域活動にもっと参加しやすい環境を作ってほしい。

1	DV対策を充実して欲しい。
2	「いのちと暮らしを守る戦略」の「保健医療，生活衛生の充実」の柱に，健康危機に係る感染症に関する項目がない。
3	「いのちと暮らしを守る戦略」の「保健医療，生活衛生の充実」の柱に，感染症や予防接種に関する項目がない。
4	小児医療は3歳までしか無料にならない。
5	京都市立病院について，がん研究は他の病院でも行われているので，例えば難病の免疫不全に関する研究，実用化に特化するなど，他の病院には無い特徴を出してはどうか。
6	骨子では看護師の養成等について触れられていないが，取組は検討されているのか。
7	厚生労働省から6月17日付けで看護師等の「雇用の質」の向上のための取組に関する通知が出ており，その中では厚生部局・労働部局が共通認識をもちながら「職場づくり」「人づくり」「ネットワークづくり」に取り組むこととするとあるが，京都市としては具体的にどうするのか。
8	京都市中心部に比べると，洛西ニュータウン内の介護施設の整備が遅れている。市営住宅の改修時にエレベーターを設置するとともに，介護施設を設置してほしい。
9	年金が心配だ。老後安心できるような政策が必要である。
10	高齢化が進むので，高齢者が活躍できる事業があればいいのではないか。
11	高齢者が健康で，医療費減をめざす社会になってほしい。
12	地域を活性化させる人材として高齢者を巻き込むことも考えていけば活気のあるまちづくりにつながるのではないか。
13	介護が必要な高齢者の支援策も計画していく必要があるのではないか。
14	幾らかの補修・補強をすれば十分使用可能な多くの大正・昭和初期の住宅の補修・補強に対する資金の補助制度，購入した中古住宅の取得税・固定資産税の軽減等の市民が住宅の維持管理や購入に対する支援策を考えてほしい。
15	障害者の立場に立って，実施計画を考えてほしい。
16	「ほほえみ広場」開催による市民交流と障害のあるひとへの理解のための啓発を推進すべき。
17	障害者でも，知的障害者や自閉症の場合は就労に苦労している。働く場を増やしていただきたい。
18	障害者が働いている現状を知ってほしい。雇用を受け入れる側への支援も大切だと思う。働き続けることが大切と思うが，働き続けることへの支援がまだまだ薄いのではないか。

19	学校のプールの水を簡易浄水器を使用したときに飲料水に適するかどうかの水質検査を実施してほしい。
20	琵琶湖の水はおいしくないのに、滋賀県にお金を払いすぎではないか。
21	災害に備えて飲料水を確保してほしい。
22	生活保護にかかる費用が毎年増えているので、基準を考え直してもよいのではないか。
23	情報が見えにくく、橋を新設する必要性や耐震化の必要性の優先付けができない。 橋梁の耐震調査結果を橋の見える場所にシールを貼付するなど、市民への周知を行うべき。
24	「災害対策の拠点となる市庁舎整備の推進」とあるが、具体的な建て替え要否とスケジュールを実施計画に明記すべき。
25	交通環境の整備を進めてもらいたい。
26	渋滞解消のために市内環状高速道の整備を進めてほしい。
27	災害弱者になってしまう高齢者や障害者の福祉避難所が計画に盛り込まれていない。
28	治安が悪いといわれる地域においても、警察の方が巡回しているので、問題ないと思う。

● 改革編

64件

参加と協働による市政とまちづくりの推進

8件

1	京都はNPOも沢山あり、行政と協力することにより、他の地方とは違ったことができると思う。
2	京都には大学が多いので、学生にもっと市民参加を呼びかけるべき。
3	学生に積極的に市政へ参加してもらうために、大学にもっと参加の呼びかけをしてもらってはどうか。
4	京都は大学生が多く、若い力が沢山あり、そのエネルギーを利用していけば良いと思う。
5	大学のボランティアサークルなどと協力すれば学生にも市政に参加してもらえるのではないかな。
6	学生でも参加しやすいボランティアを企画してほしい。
7	京都市は「共汗」が好きだが、市民の要望や声に耳を傾けてもらっていない。
8	京都市は、市民との「共汗」とか「人間力」とか言っているのに、市民の意見に耳を傾ける姿勢がない。

情報の公開・共有と行政評価の推進

6件

1	ICTの活用については、印鑑証明や住民票を区役所まで出向かずに取得できるような計画も入れるべきであり、東日本大震災をうけた大規模災害時のデータ滅失の危険性への対応だけでなく住民サービスの一層の強化も計画に織り込むべきではないかな。
2	市政に関する広報を強化して欲しい。
3	京都市がやっていることは素晴らしいことが多いが、それを知る機会がないので広報を大々的にした方がいい。
4	いい政策であっても利用されなければ効果は薄いので、ツイッターやソーシャルネットワークサービスの利用など新たな広報手段を利用するとともに、従来の広報手段でも優先度の高い分野に絞って財政状況等の現状を広報すべき。
5	できる限り市民に情報を公開して市民の声を聞くようにしてほしい。
6	こうした意見募集において、漠然と意見を求めるだけでなく特に重要な項目について論点を絞ったりアンケート形式で回答を募集するような形式も導入してほしいと思う。

1	財源収入が減っている中で、市民の負担を増やさず、京都の未来像を実現できるのか。
2	財源確保は今だけ乗り切れるやり方ではなく、十数年後も見据えて考えてほしい。
3	財源の収入を安定させるべき。
4	市職員の人件費を減らすべき。
5	人件費をもっと削減すべき。
6	職員の給料を減らすことは良い改革である。
7	給与制度の点検をすべき。
8	人件費に関する取組は甘いと言わざるをえない。仕事の内容、ポストに応じて差をつけないと、人件費が無駄になり、職員のモチベーションも保てないのでしっかりとメスを入れるべき。
9	全体的に市役所職員が多く、その人件費を改善できないか。
10	人件費は、人数を減らすだけでなく一人あたりの単価を下げるべき。公務員だけ毎年給与が上がっていくのはおかしい。
11	時間外勤務や休日出勤を減らし、人件費を削減すべきではないか。
12	職員の給与削減や人数削減の前に市長や市議会議員の給与を削減すべき。
13	給与の高くなる高齢の職員の人数を減らさずに、新卒の採用が少なくなるのはおかしいのではないか。
14	人件費削減、採用人数を減らすなどの対策があるが、学生の視線からは将来の不安材料になるので、他の分野で上手くお金をやりくりして欲しい。
15	人件費を減らし、資産売却等による財源確保などを行った場合、その後、少子高齢化の影響に対応していけるのか。
16	京都市の教員の数は多いと聞いているが、この先の少子化を考えているのか。
17	「委託化の推進」には、ごみ収集業務の委託だけがあがっているが、それ以外は検討しないのか。上下水、バス、地下鉄の外部委託も織り込むべきではないか。
18	改革編に、ごみの収集業務の深夜実施、各戸回収をやめて収集箇所を集積化で効率化することを加えるべき。
19	財政が厳しいということだが、本当に必要な工事だけを実施しているのか。
20	公共投資の削減をもっと行うべき。
21	市民に対して、よりよい公共事業を行って欲しい。
22	市債残高の縮減のため道路整備事業の見直しに関し、左京区役所開庁に伴う道路の拡張と架橋は不要であり、震災対策として橋りょうの耐震補強や老朽化対策の迅速化を最優先で取り組むべき。

23	基金を取り崩すのではなく、施設の投資費用など細かなところから見直すべきではないか。
24	公共投資の縮減はよいが、学校や橋りょうなど、なくてはならない施設まで縮減するのは反対する。
25	改革編には、敬老乗車証の不正使用の監視体制の強化を加えるべき。
26	改革編には、生活保護費の使用目的の監視強化を加えるべき。
27	京都在住の人たちに無駄な事業、廃止すべき事業を聞いて廃止してはどうか。
28	公務員の数を減らしたり事業の見直しをして利益を増やし無駄を無くすべき。
29	日常的にコスト削減を図るべき。
30	成果が上がらなかった事業はどんどん取り止めるべき。
31	成果が上がらなかった事業は取り止めるべき。
32	歳出を減らすために、類似している事業は1つにまとめるべき。
33	成果が上がらない事業は止め、本当に必要な事業だけを行うべき。
34	財政の良くないことは分かったが、その割に無駄な事業やイベントが多いのではないか。
35	事業内の無駄の削減や、事業が本当に効果を上げているのか、点検を行っていくべき。
36	経費の削減が実現するよう、取り組んでほしい。
37	貴重な税金がより平等に、より有効に使われることを切に望む。
38	京都市で取り組まれているイベントや事業を観光や経済活性化の視点でとらえることを戦略に組み込むべきではないか。
39	京都経済の発展や税収増加にどうつながるのかで事業仕分けをしてはどうか。
40	歳出を減らすことばかりではなく、どうすれば人口を増やせるか、どうすれば企業を誘致できるか、歳入を増やしていくことを考えてほしい。
41	国に対して自主財源をより多く確保できるように制度の改変を訴えていくべき。
42	京都府を中心とした税回収機構との連携はできないのか。
43	歳入分野における取組について、観光地等の駐車場利用者への課税など「森林環境税」以外にも課税自主権を積極的に活用していくべきだと思います。
44	京都市男女共同参画センターの空きスペースの有効活用とあるが、これ以上使いにくくなるのは困るので他の施設の有効活用を。
45	京都市男女共同参画センターの空きスペースの有効活用とあるが、有効活用といえるほどのスペースがある建物なのか。
46	改革編に掲げる駐車場の整備は「歩くまち京都」と矛盾していないか。

47	「公益財団・社団法人」となった団体は法律に基づき厳しく監視された自律性の高い団体となったはずなので、京都市は完全に手を切り、出資金も引き上げるべき。
48	プランはまずまず結構と思う。大学コンソーシアム京都を「外郭団体」と標記されるのは賛成できない。

一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と人材の育成

2件

1	京都市職員は京都で仕事ができることの誇りを持って頑張ってもらいたい。
2	虐待やいじめについての行政の管轄を統一してはどうか。

● その他

11件

1	素晴らしい計画だと思う。
2	実施計画（骨子）の冊子は、字が多く、見にくい部分があるので、改善して欲しい。
3	文字をつめこみすぎで読みにくい。内容を分かりやすく伝える冊子として欲しい。
4	字が多く、若者の多くは読もうとしないのではないか。
5	冊子がカラーだとより見やすく、読む気になると思う。
6	骨子を紹介する記事において未来像と重点戦略の対応関係が不明だった。基本計画を受けた実施計画であることを明確にすべき。
7	ホームページに掲載している実施計画（骨子）のPDFデータは、書かれている内容の検索ができず、画像の解像度も低いことから意見が言えないのでパブリック・コメントをやり直すべき。
8	タクシーの運転が荒い。
9	6つの京都の未来像のうち、どれがいちばん最優先なのか。
10	実施計画を京都市民は知っているのか。
11	お役所の文章は言い回しがくどくて読みづらい。